

2020年6月3日付け 韓国環境部プレスリリース

野生イノシシから ASF ウイルス抗体を検出

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=40&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1375580&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

国立環境科学院は、江原道高城郡で5月6日に捕獲された野生イノシシの血液を精密診断した結果、ASF ウイルス抗体が検出されたと発表した。

○国立環境科学院は、抗体の精密診断・のために ELISA キットを利用し1次確認した後、OIE 基準の技法によって、最終確認した。

*OIE は抗体検査の方法として ELISA と細胞免疫染色（IPT）などを提示

○抗体が検出されたイノシシは、5月8日に ASF ウイルス陽性と確定した個体であり、2019年10月から2020年6月2日までに分析した全3,026件の血液試料から抗体が検出されたのは今回が初である。

○ASF ウイルスに感染したほとんどのイノシシは数日以内に死亡するが、いくつかの個体は生き残り、抗体が検出される場合があることが知られている。

*欧州の感染地域内で捕獲したイノシシのうち0.5~2%が抗体を生成しているというデータがある。抗体を保有する個体が長期間ウイルスを拡散するかどうかは明らかになっていない（FAO マニュアル、2019）

□環境部は発生地域の7市郡及び隣接地域のイノシシの抗体検査を強化するとともに、ウイルスの遺伝子解析を実施し、ウイルス変異の状況等を把握する計画である。

以上